国民生活・経済に関する調査会

委員一覧（25名）

会　長	矢野　哲朗	（自民）	谷　博之	（民主）	石井　準一	（自民）
理　事	大河原　雅子	（民主）	津田　弥太郎	（民主）	泉　信也	（自民）
理　事	佐藤　公治	（民主）	中谷　智司	（民主）	塚田　一郎	（自民）
理　事	轟木　利治	（民主）	広野　ただし	（民主）	鶴保　庸介	（自民）
理　事	古川　俊治	（自民）	松浦　大悟	（民主）	若林　正俊	（自民）
理　事	吉田　博美	（自民）	水戸　将史	（民主）	松　あきら	（公明）
理　事	澤　雄二	（公明）	山根　隆治	（民主）	山下　芳生	（共産）
	植松　恵美子	（民主）	吉川　沙織	（民主）		
	小川　敏夫	（民主）	米長　晴信	（民主）		

（22.2.10 現在）

（１）活動概観

〔調査の経過〕

本調査会は、国民生活・経済に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、平成19年10月５日（第168回国会）に設置された。同年12月に調査項目を「幸福度の高い社会の構築」と決定し、１年目は、国民生活の現状を全般的に把握するとの観点から調査を行った。２年目は、仮説を設定し、その検証を行う、仮説検証型の調査を試みることとし、仮説１「人口減少によって一人当たり国民所得は高まり、国民幸福度も向上する」、仮説２「休日・休暇が多い国が国の経済力を伸ばし、国民幸福度を高める」、仮説３「高負担・高福祉国家の国民は総じて国民幸福度が高い」という、若干逆説的な３仮説を設定した後、仮説１及び仮説２の両仮説について調査を行った。

最終年に当たる３年目は、仮説３について調査を進めた後、これまでの調査のまとめとして、「これからの社会保障と働き方・自由時間」及び「幸福度と個人・社会」について調査を行った。

平成22年２月10日には、仮説３「高負担・高福祉国家の国民は総じて国民幸福度が高い」に関し、「社会保障とくらし」について、株式会社メディヴァ代表取締役・医療法人社団プラタナス総事務長大石佳能子君、長野県原村長清水澄君及びＮＰＯ法人高齢社会をよくする女性の会理事長・東京家政大学名誉教授樋口恵子君の各参考人から意見を聴取し、質疑を行った。

２月17日には、「これからの社会保障と働き方・自由時間」について、株式会社東レ経営研究所ダイバーシティ＆ワークライフバランス研究部長渥美由喜君及び東京大学社会科学研究所准教授水町勇一郎君の両参考人から意見を聴取し、質疑を行った。

２月24日には、「幸福度と個人・社会」について、関西大学社会学部社会システムデザイン専攻教授草郷孝好君、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター教授玄田有史君及び横浜市立大学国際総合科学部教授白石小百合君の各参考人から意見を聴取し、質疑を行った。

４月14日には、「幸福度の高い社会の構築」について、委員間の意見交換を行った。

また、これまでの３年間の調査を踏まえ、国民生活・経済に関する調査報告案を取りまとめ、会長及び理事等の懇談会において合意されたところであるが、議決するに至らなかった。

〔調査の概要〕

２月10日の調査会では、参考人から、希少な医療資源の配置の在り方、「幸せな生活は健康が第一」などの原村の村づくりのコンセプト、人生百年社会へのシステム転換の必要性等について意見が述べられ、予防医学の推進のために必要となる制度上の改善点、原村の人口増の要因及び財政状況、介護において最も大事にすべきポイント等について質疑が行われた。

２月17日の調査会では、参考人から、ワーク・ライフ・バランスの実践例及び経営効果、正社員・非正社員問題の解消に向けた改革の方向性等について意見が述べられ、ワーク・ライフ・バランスの取組に掛かるコスト、日本での規制緩和等による非正規雇用増に対する見解等について質疑が行われた。

２月24日の調査会では、参考人から、人間開発指数（ＨＤＩ）と国民総幸福量（ＧＮＨ）の概要、「希望」と「幸福」の関係、幸福の経済学の背景と研究方法等について意見が述べられ、主観的な満足度や幸福度を上げるための方策、若い世代が希望を持ち社会の閉塞感を打破するために必要なこと、経済が飽和状態にある成熟社会における幸福度の考え方等について質疑が行われた。

４月14日の調査会では、「幸福度の高い社会の構築」について、委員間の意見交換を行い、夢や希望を持てる社会の構築の必要性、家族・コミュニティなどの人間的つながりと支え合いの重要性、幸福度と就労の関係、ワーク・ライフ・バランスの推進と余暇の活用、幸福度の数値化の考え方等について意見が述べられた。

（２）調査会経過

○平成22年２月10日（水）（第１回）

○国民生活・経済に関する調査のため必要に応じ参考人の出席を求めることを決定した。

○「幸福度の高い社会の構築」のうち、社会保障とくらしについて次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

株式会社メディヴァ代表取締役
医療法人社団プラタナス総事務長　大石佳能子君
長野県原村長　清水澄君
ＮＰＯ法人高齢社会をよくする女性の会理事長
東京家政大学名誉教授　樋口恵子君

〔質疑者〕

米長晴信君（民主）、石井準一君（自民）、松あきら君（公明）、山下芳生君（共産）、中谷智司君（民主）、古川俊治君（自民）、山根隆治君（民主）

○平成22年２月17日（水）（第２回）

○「幸福度の高い社会の構築」のうち、これからの社会保障と働き方・自由時間について次の参考人から意見を聴いた後、両参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

株式会社東レ経営研究所ダイバーシティ＆ワークライフバランス研究部長　渥美由喜君

東京大学社会科学研究所准教授　水町勇一郎君

〔質疑者〕

大河原雅子君（民主）、塚田一郎君（自民）、澤雄二君（公明）、山下芳生君（共産）、川合孝典君（民主）、津田弥太郎君（民主）

〇平成22年２月24日（水）（第３回）

○「幸福度の高い社会の構築」のうち、幸福度と個人・社会について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

関西大学社会学部社会システムデザイン専攻教授　草郷孝好君

東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター教授　玄田有史君

横浜市立大学国際総合科学部教授　白石小百合君

〔質疑者〕

吉川沙織君（民主）、古川俊治君（自民）、澤雄二君（公明）、山下芳生君（共産）、川崎稔君（民主）、塚田一郎君（自民）、松あきら君（公明）

〇平成22年４月14日（水）（第４回）

○「幸福度の高い社会の構築」について意見の交換を行った。

〇平成22年４月28日（水）（第５回）

○調査会長の辞任を許可し、補欠選任を行った。